国土交通省
東北地方整備局

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

地域を“みず”から守る。
東北流域治水

令和４年９月２８日
東北地方整備局

令和４年７月の大雨を踏まえて検討部会を立ち上げます
～鳴瀬川水系多田川流域において流域治水について議論します～

令和４年７月の大雨で甚大な浸水被害を受けた鳴瀬川水系多田川流域において、河川改修や下水道整備に加えて、遊水機能を確保しつつ、早期に浸水被害の軽減が可能な流域での取組が一体となった対策を検討します。

このたび、鳴瀬川水系の流域治水協議会（※）のもとに検討部会を設置し、関係自治体等と連携して具体的な対策の議論・検討を進めます。

※流域治水協議会とは、国・県・市町村、企業等の流域のあらゆる関係者が参画し、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」について協議するために開催されるもの。

＜対象水系・河川＞　＿は県管理河川

■令和4年7月15日からの大雨

- 鳴瀬川水系・多田川流域　※一部国管理区間を含む
  （堤防決壊による被害のあった名蓋川や
  溢水による被害のあった大江川等）

検討部会の開催日については、今後、東北地方整備局北上川下流河川事務所のHP 等でお知らせします。

（参考）鳴瀬川水系の流域治水協議会
⇒http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/project/index.html

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会＞

【問い合わせ】
国土交通省　東北地方整備局　河川部　　電話：022-225-2171（代表）
河川計画課長　　川面 顯彦（内線：3611）

令和4年7月の大雨　出水概要（鳴瀬川水系）～出水、被害状況～

参考資料

○鳴瀬川流域では、7月15日からの豪雨により、古川雨量観測所で239mm/24h（観測史上第1位）の雨量を記録。
○名蓋川の堤防決壊をはじめ、大江川の溢水等により、浸水被害が発生。

＜位置図＞

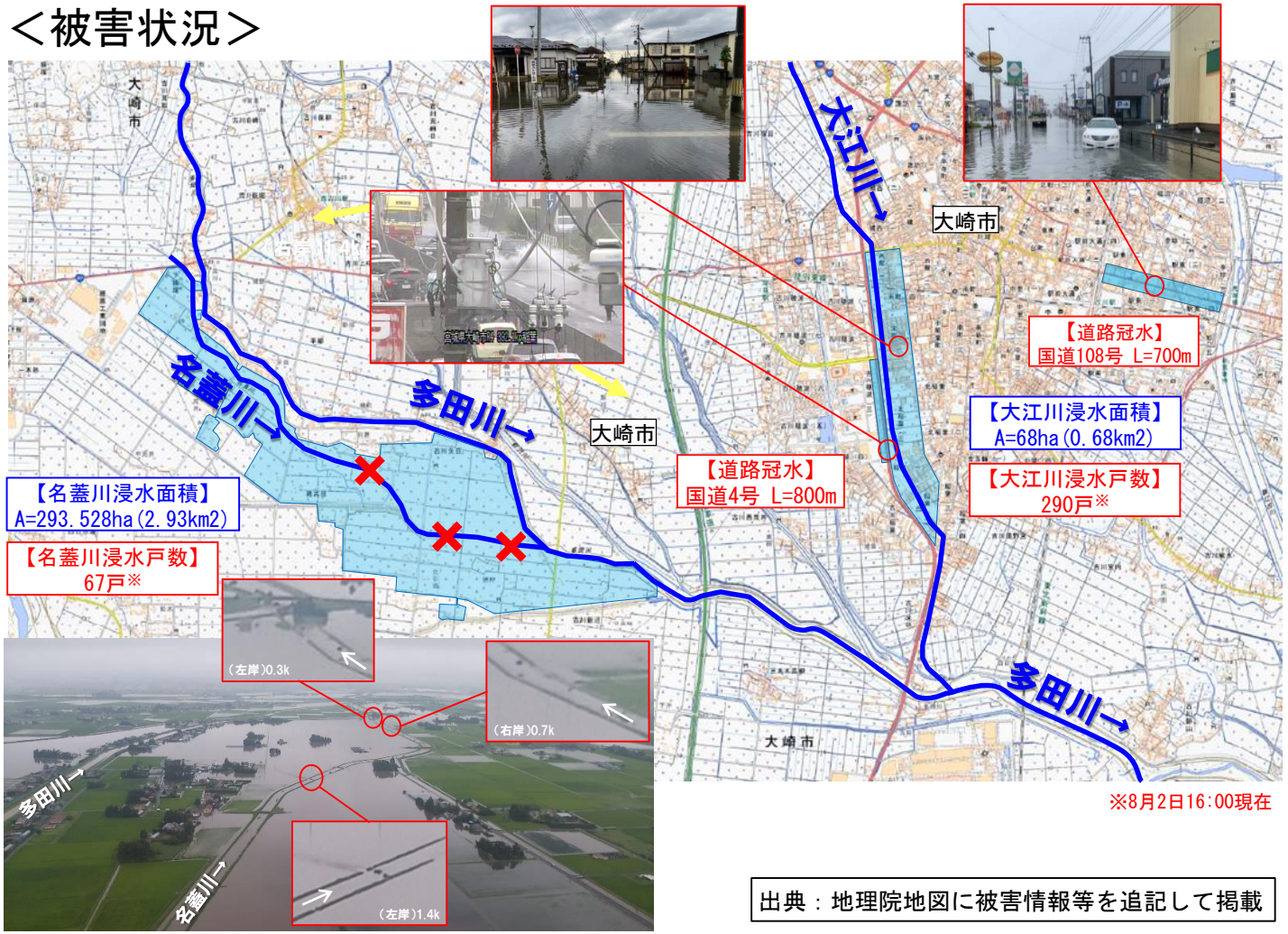


＜課題＞

多田川に合流する名蓋川は、下流部から順に河川整備を実施しており、未改修区間では近年で3回の堤防決壊が発生。また、市街地を流れる大江川等で溢水や越水が発生。

抜本的な対策については、名蓋川、大江川等が合流する多田川の流域全体で、対策を検討する必要がある。

＜被害状況＞



※8月2日16:00現在

出典：地理院地図に被害情報等を追記して掲載